

1 消防活動概要

(1) 119番通報受信総件数

119番通報は**37,187件**ありました。

(2) 災害出動件数

消防車や救急車が災害に出動した件数は、**24,758件**です。

内訳の件数は次表のとおりです。

[内訳]

消 防 隊									救 急 隊	合 計
火 災	救 助	救 急 支 援	救 命 消 防	危 険 排 除	偵 察	警 戒	そ の 他	小 計		
147	167	1,427	430	82	128	5	43	2,429	22,329	24,758

※ その他は、誤認火災、市外出動等です。

(3) 消防隊の出向件数

消防隊が調査、広報、訓練、査察などに出向した件数は**12,739件**です。

谷戸及び高台、中高層建築物に居住する高齢者などの施設への一時入所時、送迎車両までの搬送サービス(消防福祉サービス事業)を平成8年から行なっていますが、17年中は**73件**実施しました。

なお、出向等の内訳は次表のとおりです。

[調査・出向件数]

風 水 害	火 災 調 査	広 報 ・ 指 導	演 習 ・ 訓 練 等	警 防 調 査	特 別 警 戒	捜 索	予 防 査 察	福 祉 サ ー ビ ス 隊	そ の 他	合 計
65	145	1,219	1,424	1,940	87	0	3,998	73	3,788	12,739

※ その他は、犬猫等の救出等です。

2 火災概要

(1) 火災件数

火災件数は**147件**です。16年中の266件と比較して**119件減少**しています。火災種別の内訳は、建物火災**75件**、林野火災**0件**、車両火災**22件**、船舶火災**1件**、航空機火災**0件**、その他の火災**49件**という状況です。

(2) 火災損害額

火災損害額は**1億6,466万8千円**です。16年中の2億6,661万1千円と比較して**1億194万3千円減少**しています。

(3) 死者

火災による死者は**4人**発生しました。16年中の4人と比較して増減はありません。このうち、災害弱者である高齢者(65歳以上)**1人**が亡くなっています。

(4) 負傷者

火災による負傷者は**24人**です。16年中の24人と比較して増減はありません。負傷した主な原因は、初期消火従事中**10人**、避難中**9人**という状況で、その他に火災を発見したときに煙を吸い込んで負傷したなどがあります。

(5) 建物焼損面積

建物焼損面積は**1,374㎡**です。16年中の2,438㎡と比較して**1,064㎡減少**しています。

(6) 主な火災原因

火災原因のトップは、**放火(放火の疑い含む。)**が**37件**で、16年中の106件と比較すると**69件減少**しているものの、平成3年から連続して火災原因の**第1位**となっています。

[火災原因別件数]

順位	平成17年中			平成16年中		
	原因	全体	建物	原因	全体	建物
1	放火(放火の疑い含む。)	37	13	放火(放火の疑い含む。)	106	40
2	たばこ	22	14	たばこ	33	17
3	各種こんろ	19	19	各種こんろ	19	19
				電気関係	19	15
4	火遊び	11	6	火遊び	16	0
5	電気関係	8	6	たき火	13	3
	たき火	8	0			

3 救急概要

(1) 救急出場件数

救急隊の出場件数は**22,329件**です。16年中の21,050件と比較し、**1,279件(6.1%)増加**しましたが、救急出場件数は年々増加の傾向にあり、過去5年間における平均増加率は**5.6%**となっています。

(2) 平均出場件数

現在、11台の高規格救急車が活動しており、1隊あたりの平均出場件数は**2,030件**です。また、高規格救急車には41名の救急救命士が同乗して救命活動を行っています。

(3) 救急搬送人員

救急車による搬送人員は**20,872人**です。16年中の19,636人と比較し**1,237人の増加**となっています。

(4) 出場件数及び搬送人員の内訳

[救急事故種別 出場件数・搬送人員]

事故種別	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損	急病	その他	合計
出場件数	75	2	25	2,032	172	150	2,942	212	275	14,582	1,862	22,329
搬送人員	23	2	17	2,099	169	149	2,731	191	217	13,457	1,817	20,872

4 PA(消防隊と救急隊の連携)出動概要

PA出動とは、救急現場において救急隊だけの処置・搬送に支障がある場合や、救命活動が必要な状況で、救急隊よりも消防隊が早く救急現場に到着できる時、消防車(ポンプ車)と救急車(アンビュランス)を同時に出動させるシステムです。

PA出動は、**1,857件**で、16年中の1,437件よりも**420件増加**しました。

[内 訳]

出 動 内 容		件 数
支 援 出 動	谷戸、高台 (谷戸、高台地域から救急隊単独で傷病者の搬送が困難な場合)	540
	中高層 (中高層建物から救急隊単独で傷病者の搬送が困難な場合)	508
	交通 (国道に準じる主要道路上などでの交通事故の場合)	113
	自動車専用道路上 (自動車専用道路上などでの交通事故の場合)	9
	隊員保護 (傷害事件などで救急隊員及び傷病者を保護する必要がある場合)	27
	繁華街等 (祭礼、催し物、繁華街等で救急活動に障害が予想される場合)	13
	署所直近 (消防署所の近くで発生した事故の場合)	23
	救急隊遅延 (救急隊の現場到着が遅延されると予想される場合)	66
	その他 (上記以外の場合)	128
	救 命 出 動	心肺停止状態や大出血など、迅速な救命行為が必要な場合
合 計		1,857